

研究開発などの基礎的な取組は順調。  
依然格差はあるものの全体としてめざましい  
勢いで利用増大。一方インフラへの負担大。  
安全性の面ではセキュリティ対策が不十分。

# 我が国のインターネットの概観

～ 11の統計で見るインターネットの姿 ～

## セキュリティ

### 利用者脆弱性の状況

ウイルスチェックソフト導入(H15年)<sup>注6</sup>  
世帯:32.0%  
企業:72.7%

### 迷惑通信の状況

迷惑メール受信経験(H15年)<sup>注6</sup>  
PC19.1% : 携帯電話64.3%  
ウイルス被害経験(H15年)<sup>注6</sup>  
PC21.5% : 携帯電話0.9%

### 国際トラフィック

(--)<sup>注8</sup>

### トラフィック

主要IXのピーク交換量最大値<sup>注7</sup>  
90Gbps(H15年)  
【每秒CD約18枚分】  
<2年で約6.5倍>

### インターネット利用状況

インターネット利用者(H15年)<sup>注6</sup>  
7,730万人  
【6歳以上人口の67.8%】  
<4年で約2.8倍>

### コンテンツ情報量

JPTメインのWebデータ量(H16年2月)<sup>注9</sup>  
13,609ギガバイト  
【公共図書館4館分に相当】  
<4年で約6.1倍>

## ネットワーク基盤

### インターネット利用格差

世代別利用率(H15年)<sup>注6</sup>  
30代90.4% : 60才以上21.6%  
都市規模別利用率(H15年)<sup>注6</sup>  
特別区等75.6% : 町・村58.0%

### 研究開発費投入状況

情報通信分野研究開発費(H14年度)<sup>注1</sup>  
2兆2,550億円  
【研究開発費全体の約13.5%】  
<4年で約1.3倍>

### IPアドレスの割当状況

IPv4の割当て(H16年9月現在)<sup>注4</sup>  
日本5.8% : 米国63%  
IPv6の割当て(H16年6月現在)<sup>注5</sup>  
日本68件 : 米国95件  
【日本はv4、v6とも米国に次いで第2位】

### 特許登録状況

情報通信分野の特許登録件数(H15年)<sup>注2</sup>  
日本:17,703件  
米国:39,541件  
欧州:8,103件  
【米国の約45%、欧州の2倍以上】

### 日本の標準化貢献度

日本人著者数割合(H16年5月現在)<sup>注3</sup>  
IETFのRFC:1.6%  
W3CのRecommendation:3.7%

## ガバナンス

注1: 科学技術研究調査  
注2: 重点8分野の特許出願状況  
注3: 情報通信政策研究所調査  
注4: RIR資料  
注5: RIPE NCCより総務省作成  
注6: 通信利用動向調査  
注7: 総務省次世代IPインフラ研究会第一次報告書  
注8: 利用可能なデータがない  
注9: WWWコンテンツ情報量調査